

学校教育目標

「自主自律の精神にとんだ人間性豊かなたくましい児童の育成」

—瞳キラキラ 笑顔いっぱい 学校の創造

校長 小沢 仁志

本校は、昭和55年4月、同市内の幸松小学校より分離して設立されました。今年で40年目を迎えます。上記の「自主自律の精神にとんだ人間性豊かなたくましい児童の育成」は、創立以来の本校教育目標です。小渕の地に育つ子どもたちの理想の姿として引き継いでまいりたいと考えております。

今年度の小渕小学校は、新1年生49名を迎え、全校児童309名、12学級でスタートします。教職員は支援員や指導助手等を含め、計27名です。全職員で一丸となり、小渕小の子どもたちの成長をしっかりと後押しするべく教育活動に取り組んでまいります。

保護者の皆様、並びに地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に様々な場面でサポートしていただきますことに心より感謝申し上げます。今年度におきましても変わらぬ御理解と御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

<小渕小学校の2つの柱「自分いっぱい運動」と「はだしの教育」>

教育推進の柱1：「自分いっぱい活動」

- 知恵いっぱい（タンポポのように）
- やさしさいっぱい（コスモスのように）
- 元気いっぱい（ひまわりのように）

教育推進の柱2：「はだしで脳を鍛える」

- はだし教育の推進
 - ・身体能力の向上
 - ・脳の活性化



小渕小学校では、学校教育の柱として、上記の2つを掲げています。1つめは「自分いっぱい運動」の推進です。様々な自然環境にも上手に適応しながら、かしこく咲き続けるタンポポのように、優しさにあふれ心なごむコスモスのように、そして、太陽に向かって力強く咲き誇るひまわりのように、「知」・「徳」・「体」それぞれについてバランスよく子どもたちの成長を牽引・支援していきます。

2つめは「はだしの教育」の推進です。創立2年目から始まったこの取組は、今年度で39年目を迎え、小渕小学校の伝統といえる活動になっています。はだしで大地を踏みしめ元気に運動することで、脳の活性化と体力の向上、心と体をしっかりと鍛えていきます。